

釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「コミュニケーションの活性化」

2024-2025 年度 第13回(通算第1235回)

プログラム『卓話例会』

担当 人間尊重・地域発展・環境保全委員会

■日時:令和7年4月 22日(火)19時00分～ ■例会場:アクア・ボール

【会長】横山 豊 【副会長】伊藤 広樹 【幹事】後藤 義信

■ 点 鐘

横山 豊会長



■ ローターソング『我らの生業』

ソングリーダー 貝嶋 政治君



■ 会長挨拶

横山 豊会長



皆様こんばんは。今日の例会は後藤幹事が出張で欠席の為、大越副幹事に幹事代行を依頼していましたが、大越副幹事も急遽、所用で例会に出席できなくなりましたので1人3役で例会を進めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

先週の金曜日に北ローターアクトクラブの例会にメーキャップで参加して参りました。例会前に会長にお聞きしたところによ

りますと、現在会員数は16名で平均年齢は26歳、平均在会年数は5年くらいとの事でした。またローターアクトから北ロータリークラブに入会された方は4名くらいとの事でした。プログラムも「例会1枠ゲットだぜ」と元気の良いネーミングで、各グループに分かれて来年度の例会内容を考えて発表し順位を競うという内容でした。例会ではアクトのメンバーが一人一人真剣にご自分の意見を述べているのが印象的でした。また皆さん礼儀正しいのにも感心しました。

さて今日は人間尊重・地域発展・環境保全委員会担当の卓話例会です。小平委員長、限られた時間ではありますが本日は宜しくお願い致します。

次に幹事報告を2点

4月18日(金)の釧路ローターアクトクラブへの集団メイキャブは5名で参加しました。

米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いています。個人ボックス上に置いてありますのでご覧下さい。

■ 各種記念日の紹介(親睦活動委員会)

【入会記念日】該当者はありません。

【誕生祝】該当者はありません。

【結婚祝】該当者はありません。



・本日のニコニコ献金

【小平委員長、宜しくお願いします】

横山豊君、平野知子君、森圭一郎君、漆崎隆君、
美馬崇俊君、貝嶋政治君、倉茂義衛君、
伊藤広樹君、鈴木敏夫君、葭本正美君
植原元晴君

☆本日のニコニコ献金 ¥22,000
累計 ¥574,000

・本日のプログラム

「卓話例会」



皆様こんばんは。本日の卓話は釧路もしくは北海道に縁のある人物、ということで北海道の命名者である松浦武四郎を取り上げてお話ししたいと思います。

松浦武四郎とはどんな人？

北海道を命名し、アイヌを迫害する日本政府に警鐘を鳴らし続けた探検家

松浦武四郎は江戸末期の探検家であり、著述家、画家でもあります。

幕末に、当時「蝦夷」と呼ばれた北海道を複数回探検し、現地で暮らすアイヌ民族の文化を記録、将来、日本の文化の流入でアイヌ文化が減んでしまわないよう最初に警告を発し、アイヌ民族のために戦った人物でもあります。

浦武四郎は伊勢国須川村の庄屋の四男として誕生

松浦武四郎は、文化 15 年（1818 年）伊勢国一志郡須川村にて、郷士松浦桂介と、とく子の四男として誕生します。元々、松浦家は肥前国平戸（ひぜんのくにひらど）の松浦水軍の支流で中世に伊勢国に引っ越してきたそうで伊勢で成功した庄屋の家系でした。武四郎は、比較的恵まれた環境で 13 歳の頃から 3 年間漢学者平松楽斎（ひらまつらくさい）の元で学び、そこで猪飼敬所（いかいけいしよ）や梁川星巖（やながわせいがん）と知り合うなど後に探検家として役立つ文化的な素養を身に着けたとされています。

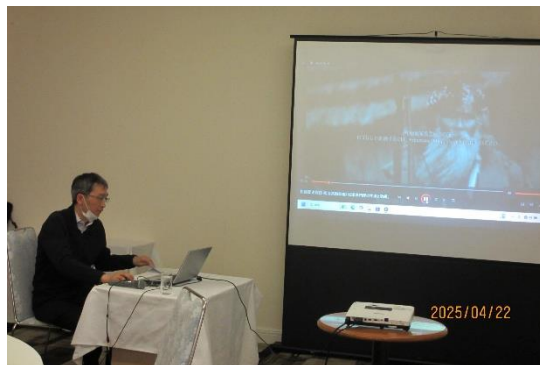
日本各地を遍歴、26 歳で蝦夷地探検へ

山本亡羊（ぼうよう）に本草学（ほんぞうがく）（医学）を学んだ武四郎は、16 歳から日本全国を回り天保（てんぽう）9 年（1838 年）に平戸で僧になって文桂（ぶんけい）と名乗りますが、故郷を離れている間に親や兄弟が亡くなり天涯孤独となったのを契機に弘化（こうか）元年（1844 年）還俗して蝦夷地探検に出発します。

1846 年には、樺太詰（からふとづめ）となった松前藩医の西川春庵（にしかわしゅんあん）の下僕として同行し、北海道ばかりではなく択捉（えとろふ）や樺太（からふと）まで探検しました。

安政 2 年（1855 年）に江戸幕府から蝦夷（えぞ）御用御雇（ごようおやとい）に抜擢されると、再び蝦夷地を踏破し「東西蝦夷山川地理取調図（とうざい・えぞさんせん・ちり・とりしらべず）」を出版します。明治 2 年（1869 年）6 月に「蝦夷開拓御用掛」となり、蝦夷地に「北海道」と命名しました。また、武四郎はアイヌ語の地名を参考にし

て国名や郡名を選定、その数 9800 以上で、すべて現地アイヌ人にインタビューして名前を確かめた上での命名でした。



アイヌ文化の紹介に努めた武四郎

地名をアイヌ語に沿ったものにしたように、武四郎はアイヌの文化に深い理解を持っていました。武四郎が出版した「蝦夷漫画」では、アイヌ文化がそのまま紹介されています。

武四郎が蝦夷地を訪れた時、すでに蝦夷地を支配していた松前藩や松前藩より、貿易の利権を許された日本商人により、アイヌ人は搾取されている状態でした。

そこで武四郎は幕府に対し、開発の必要性を認めつつも、それよりもまず今日のアイヌ民族の命と文化を救うべきであると調査報告書の随所で訴えていました。

「近世蝦夷人物誌（きんせいえぞじんぶつし）」では百数十人のアイヌの人々が実名で登場し、アイヌ民族の生活を紹介していましたが、その中には松前藩や日本商人による搾取や圧政もそのまま記録されていたことから武四郎の生前には出版が禁止されています。

島義勇に直訴し、過酷な場所請負制を廃止

武四郎は明治政府が積極的に北海道開拓を進めていく上で、かならず衝突するであろうアイヌ民族と文化に敬意を示し、開拓に

よりアイヌ文化が危機に瀕しないよう、アイヌ民族と文化の紹介を熱心に続けました。特に日本商人により過酷な利潤追求がおこなわれ、アイヌの迫害と反乱まで招いた「場所請負制」について、武四郎は蝦夷開拓御用掛首席判官（えぞかいたくごようがかり・しゅせきほうがん）、島義勇（しまよしだけ）に掛け合い、廃止を願い出ます。

島は武四郎の訴えを聞き入れ、石狩や小樽（おたる）など西部13郡の場所請負人（ばしょうけおいにん）を呼びつけて請負人制度の廃止を通告します。

場所請負制が漁場持と名称変更し復活

しかし、利益を奪われる事を恐れた日本商人は裏から手を回し、函館の本庁から制度名を「漁場持（ぎょうばもち）」と変えて制度自体は「従来通り」とするように画策します。

当時の箱館府権判事開拓判官（はこだてふ・ごんはんじ・かいたくほうがん）、岩村通俊（いわむらみちとし）が制度廃止を時期尚早とし開拓費用を大和商人に負担させるべきという意見書を書き送り、民間資本を北海道開拓に利用するため独占的利益が得られる漁場持は維持する事が決定されました。結局、島義勇は鍋島直正（なべしまなおまさ）の後任である開拓長官・東久世通禧（ひがしくぜみちとみ）と予算をめぐり衝突。志半ばで解任されました。

島義勇の解任後、松浦武四郎が函館に赴任します。この時、松浦は偶然函館の料亭で、役人が大和商人に「島同様、松浦も罷免に追い込む」と口約束しているのを耳にします。松浦は陰謀を非難し1250字に及ぶ辞表を東久世に突きつけて辞任。それだけでは治まらず、与えられた従五位下の官位まで返

却しています。

真つすぐな性格の武四郎にとって、アイヌ民族に対する搾取と迫害を続ける明治政府の官位を持っている事が我慢できなくなったのでしょう。武四郎は一生で北海道へプライベートで3度、公務で3度の合計6度赴き、およそ150冊の調査記録書を遺し、それらはアイヌ研究の貴重な史料となりました。

様々な趣味を持ち 70歳で大往生

役人を辞めた武四郎は晩年を執筆活動にあてていますが、死の前年まで歩く事を止めず全国歴遊を続けたそうです。武四郎は天神を篤く信仰し全国25の天満宮を巡り、鏡を神社に奉納しています。

また、古物収集家としても知られ、縄文時代から近代までの国内外の古物をコレクションし、64歳の時、自分を釈迦に見立て古物コレクションに囲まれた「武四郎涅槃図」を河鍋曉斎に描かせるなどユニークな試みもしています。

絵筆も達者で、明治3年（1870年）には北海道人と号し「千島一覽（ちしまいちらん）」という錦絵を描き、最晩年68歳の時には、富岡鉄斎（とみおかてっさい）の影響で登山にハマリ、奈良県大台ヶ原（おおだいがはら）に熱心に登り、登山道の整備、小屋の建設などを自費でおこなったそうです。

明治21年（1888年）武四郎は東京神田五軒町（かんだごけんちょう）の自宅で脳溢血（のういっけつ）で死去します。70歳でした。

松浦武四郎は正義感が強い人で、明治政府のアイヌ人に対する差別待遇に憤り、官職を投げ捨ててしまうほどでした。

ただ、その事もあり武四郎はアイヌの人々

に過剰に肩入れする所があり、著作の「近世蝦夷人物誌」については、日本のアイヌ人搾取を強調する脚色が入っているようで全体としては嘘ではありませんが、史料として読むには客観性に難があるようです。

それらを差し引いても、武四郎が日本人に

※クラブリーダーシップラーニングセミナーにて(4.13)

迫害され文化を失っていくアイヌ民族に対し強い同情と問題意識を持ったのは事実であり、その点は否定できないでしょう。

ご清聴ありがとうございました。



釧路バードクラブ 出席委員会

在籍会員数	18名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	12名	名 / 名	6名 / 名	66.7%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

会報・雑誌・IT委員長

千葉 潔 : chibainterior@yahoo.co.jp

副委員長

植原 元晴 : ueharaoto@jeans.ocn.ne.jp

委員

貝嶋 政治 : kaijima@coral.ocn.ne.jp

委員

美馬 嵩俊

サブ

池田 圭樹

クラブ事務所 釧路市幸町14丁目1-1 ノーストサズイ2階 TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154)23-6213